

「安全宣言」で千葉支社と団交(4/28)

一労組との確認文書を業務で強制する千葉支社の安全軽視を追及

四月一日以降、各職場の業務掲示板に、「『安全宣言ちば』—さらなる安全性の向上に向けて—」と題する、JR千葉支社とJR東労組千葉地本連名の文書が貼りだされた。

この文書は、千葉支社と東労組千葉地本の連名でも明らかかなように、会社と一労組との単なる確認文書ではないのである。しかも、JRの中には複数の労働組合が併存していることを百も承知の上で、「安全」という問題について特定の組合とのみ確認し、業務掲示板に掲出して「業務」として全員に強制するなどということは、絶対にあってはならないことだ。

この「安全宣言」問題については、これまでも二回発生し、その都度職場から疑問や抗議の声があがり、団交の席において会社側の安全に対する姿勢を徹底的に追及してきた。しかし、こうしたことを無視してまたも業務掲示に一労組との確認にかすぎない文書を掲出するという会社の姿勢こそ、安全に関してまともな判断ができないところまで来てしまったということに他ならない。

結託体制を維持するのが本音

「安全宣言」の内容にしても、とても安全を語るのとはばかられるものだ。「外部からの攻撃に對抗し得る条件」「いかなる外部干渉も排除するという立場」「健全かつ強靱な労使関係」という文言が羅列されているが、

これはJRとJR総連革マル結託体制が危機に陥った時に必ず使われてきた。この間でも、「JR東海社長の葛西がJR東日本の社長の座を狙っている」「これはJR東日本と東労組に対する組織破壊攻撃だ」「葛西の入城を阻止せよ、松田社長を守れ」と主張し、結託体制を維持するために荒唐無稽としかいえないような主張を繰り返して、そのためには職場で「基本動作を守る運動」や「平和共存打破」と称する運動を強制して東労組内からも不満や疑問が噴出したことはすでに周知の事実だ。こうしたことを見れば今回の「安全宣言」についても、結局はJRとJR東労組の結託体制を何とか維持したいということであらわれでしかないということは明らかだ。

「労使共同宣言」を踏まえるか?

動労千葉は、安全とは全く関係のない「安全宣言」が業務掲示に貼りだされていることに抗議して申し入れを行い、これに基づいて四月二七日、各支部代表も参加して千葉支社との団体交渉が行なわれた。

回答は以下のとおり。

(1) 昨年二月発生した山手貨物線接触死亡事故以降、同種事故の再発防止に全力を上げ取り組んできたが、今年三月一九日に蘇我駅で発生した協力会社社員との触車死亡事故をはじめ、依然として作業ルール、マニュアルなど、決められたことが守られ

ないことに起因する事故の芽などが発生している。そこで、千葉支社の全社員にさらなる安全意識の高揚を求め、決められたことは守る、誤りは正すなどを図るべきと考えており、安全の現状認識を全社員に周知する必要があると判断し、業務掲示板に掲出した。

(2) 安全エンプレムの着用は、社員の意識を高揚させることと合わせて、当社をご利用いただくお客さまに幅広く当社の安全を積極的にアピールすることを目的に行なったもの。

(3) 業務掲示については、その使命は果たしたと判断し、四月二八日もって取り外すよう関係箇所へ指示した。

今回「安全宣言」を出した理由として千葉支社は、「安全は最大の取り組みであり、その認識を全社員に周知する必要があると考えた」「(東労組と)安全の議論をした中で『安全宣言』として提起され、それを業務掲示に出した。その経緯を踏まえて特定の組合名を出した」と回答してきた。しかし、団交での議論については、各組合毎に違ふのは当たり前であり、組合側から提起された内容を確認する度に業務掲示にその内容を貼り出すという事になれば、全ての組合との確認事項を業務掲示に出さなければならぬということになってしまう。

さらに、文書の最後には「労使共同宣言の趣旨を踏まえ」となっているが、労使共同宣言を

締結しているのはJR総連だけだ。そうである以上、それ以外の組合は踏まえることなど到底できない代物であり、千葉支社が「全社員に周知する」としても、東労組組合員以外を対象にはならないということになるのだ。

絶対ないやっつてはならぬことだ

職場の業務掲示板にこのような文書を掲出することは、安全は会社と東労組だけがやっているのではない、会社は安全を軽視している、こんなことでまともな仕事ができるのか、という不満や疑問が噴出し、職場に余計な混乱を持ち込むことになるのだ。こんなことは絶対にやっつてはならないことだ。

動労千葉からの抗議に対して千葉支社は、「『外部からの攻撃』とは頻発する列車妨害のことで」「現状認識の向上を図る」などと回答するだけで、なんらまともな回答もせず不誠実な対応に終始した。

動労千葉は、こうした千葉支社の対応に対して、安全に対する会社の姿勢が完全に崩壊している状況の中で、今日のように故障や事故、輸送混乱が多発していることを突き付け、今後このようなことを繰り返さないように厳重に抗議して団体交渉を打ち切った。

JRは、運転保安確立に向け、動労千葉の運転保安要求を履行しろ。運転保安確立に向け、職場での闘いを強化しよう。